

山 弓 連

平成 26年 4月(1号)

～にも拘わらずの覚悟とともに

天野 裕

二月には百数十年來の大雪で、県全体が数日にわたり陸の孤島化する事態となりました。会員の皆様にも多かれ少なかれ被害にあわれた方も多かったのではないかと思います。衷心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復興を祈念しております。

春の息吹きを感じながら、昨年度に果たせなかった課題や夢の実現に向けて新たな決意をもって新年度を迎えられたことと思います。

さて、全弓連が公益財団法人に衣替えし、その名に相応しい制度改革を進める中で法人運営費の充実のために各地連からの分担金が増額されたことは既に周知のことと思います。全国各地連では様々な方法でこれに対応していると聞いておりますが、山弓連では論議を尽くした末、会費の値上げ等はずせに、支出面の節約、節減をもって臨むことになりました。年間の各行事の運営に当たられる各部、各支部の担当者の方々には従来通りの交通費や昼食の内容が削減されることを是非了承していただきますようお願い致します。支部の代表として派遣される係の方々へ削減された分を支部費で補うような支援をして頂ければなお有り難いと考えております。

弓道に携わる動機や目的は様々ですが、技量の上達は誰にとっても楽しく更なる向上心を掻き立ててくれます。上達が鈍るとどうしても意欲に影響があります。しかし、スランプの時にこそ飛躍への鍵が隠されているものです。斯道が教えているように自らを省みる絶好の機会になります。昨年度の指導部が主管する講習会への参加者の減少は向上心を失った方が多くなったように感じられ、残念です。

審査を受ける数も減少気味なのは講習会への参加者の減少と連動していると思われそうです。稽古せずに昇段を期待し、稽古せずに入賞を望むのはいかがなものでしょうか。昨年度中に中央審査での合格者は僅か2名でした。国体選手の強化練習に参加する方々も顔ぶれに固定化が見られます。27年度からは成年の種別では選手が監督を兼ねることが無くなる予定です。公認指導員の資格は選手には不要になります。是非奮って強化練習にも参加して欲しいと願っています。

これまで卒業した高校生がやがて山弓連の会員になることを期待して「高校3年生・社会人交流射会」、1・2年生を対象とした「国体選手壮行交流射会」を行ってきましたが、今年度からは更に休眠中の弓道経験者の連盟への回帰を期して「弓道体験教室」を5～7月の毎水曜日に小瀬武道館弓道場で開催します。弓具の貸与など様々な形でのご支援・ご協力をお願い致します。

少子・高齢化は全国の現象です。不都合や不備な環境の中に言い訳の種を求めず、「～にも拘わらず」の覚悟で新年度を充実した年にして行きましょう。

平成26年 わんりんピック県予選 平成26年4月13日(日) 小瀬武道館
全国わんりんピック派遣選手 10月3日～5日 栃木県開催

(立順) 1・新藤康平(甲府) 2・嵯峨崇(大月) 3・久保寺美恵子(甲府) 4・佐野辰巳(南部)
5・斎藤美隆(笛吹) 補欠・中村秀子(笛吹) 雨宮哲(笛吹)

来る10月の全国わんりんピックには好成績を残すべく、

5月19日(月)から毎月第3月曜日に甲府青葉弓道場に集合して合同練習会を実施します。

同日予選開催 全日本勤労者弓道選手権大会 (6月田辺市開催)

派遣チームは 横河電機、日立AMSと決定しました。

躍動の為の弓道

教士七段 佐野辰巳

昨年まで 18 年近く審査関係のお手伝いをして来て色々勉強になりました、規則を守ること基本どうりに弓を引くこと、何処へ行っても平常心を忘れないことなど実践の中で生かす事が出来るよう学ぶことなど取り上げればきりが無い、今年に入って二回ほど関東連合の審査委員として東京の至誠館で一度に五百人も集る審査に行ってきました。

今回は四回目でした、東京の或る地連では高段者講習会に参加した人達は八十名が審査を受けるそうです、四百七十二名の受審者で、ある地連では九五名受審していました、東京全体では百九二名が受審し、関東一円と静岡・新潟・珍しく諸外国の人もおり幅広く、朝八時からの役員の打ち合わせによりやく間に合い安堵しました、三会場に別れ一会場が百五七名程度で三つの会場で合計二七名の合格者が出ました。因みに山梨県では三名が受審していました。

私の受け持ちは第一射場で百五七名おり十名が欠席したので四時には終了しました、その内皆中者が十九名おり合格者は十一名でした、全員の射数は二九六射的中は八九本でした寒さのせいか三割三分ちょっとは寂しい的中率でした。

五段審査は難しい、射形、射術、体配が法に適って射品に現れなければいけない、それを精練の功特といひ見る人に見られなければならないのが審査である、入場の基本の姿勢と動作で息合いと気合が合わない射術の運用面で落ち着きがなくなる人が多い、的中してもまぐれに近いと見られる。

今回受け持った第一射場で全ての受審者の会の保つ時間を測定してみた、一番早い人で 0.6 秒、一番長い人で 17.2 秒を保った人が居た、二本射る甲矢と乙矢で 1.0 秒以内の人は 100 人程おりその他はバラバラである、一番差のあった人は 6.0 秒も差のある人がいた、平均して会の保つ時間は 5.13 秒であった。

的中しない人の中でも素晴らしい射をした人もおり、何故的中しないのかと目を疑う人もおりましたが、いずれにしても合格者の射品・射格・気合・等は見事な物で指導力の差をまざまざと知らされました。

平成 26 年度 段位別兼全日本、関東選抜予選会

平成 26 年 4 月 20 日 (日) 小瀬武道館

総参加数・73 名 申込数・参段以下 22 名 参加 16 名 申込数四段 14 名参加 13 名

開始 9 時 30 分

申込数 五段 24 名 参加 21 名 申込数称号 24 名参加 23 名

終了 14 時 40 分

いささか少ない感が否めない 7 3 名の参加者を得て、山弓連の全員が参加できる新年度最初の大会が開催されました。大雪の影響で練習不足と当日の冬のような寒さで思うような成績を残せなかった選手も多い中でも熱のこもった大会でした。是非 6 月における 2 次選考会には素晴らしい成績を期待したいと思います。

1 2 3 4 5 6 7 8 的中

参 段 以 下	1位	和田満貴	南ア	初段	○	×	○	○	○	○	×	○	6	○	
	2位	渡辺律子	富士吉田	貳段	○	○	×	×	○	○	○	○	6	×	
	3位	青柳祐太郎	笛吹	初段	○	×	○	○	×	×	○	○	5		

3位5中2名遠近競射

四 段	1位	中村昌夫	山梨		×	○	×	○	○	○	○	×	5	○	×	○
	2位	豊田浩正	甲府		○	○	○	×	×	×	○	○	5	○	×	×
	3位	上条剛央	上野原		×	○	○	○	×	○	×	○	5	×		

五 段	1位	河西映里	南ア		○	○	○	○	○	○	○	×	7		
	2位	渡辺幸太	富士吉田		○	○	○	×	×	○	○	○	6		遠 近 競 射
	3位	中澤国弘	甲府		○	○	○	○	×	○	○	×	6		

3位6中3名遠近競射

称 号	1位	芦沢茂幸	笛吹	教士六段	○	○	×	○	○	○	×	○	6	○	
	2位	若杉年久	笛吹	練士六段	○	×	○	×	○	○	○	○	6	×	
	3位	綿奈部博史	甲府	練士六段	○	○	×	○	×	○	×	○	5		

3位5中3名遠近競射